

中小企業のための知財関連情報

～中小企業に就業する方および経営者の方にとって参考となる知財関連情報を紹介します～

知的財産教育協会 中小企業センター

「所属企業等における知財活用、知財に関する意識調査」アンケート 中間報告

知的財産教育協会 中小企業センター 政策検討ワーキンググループ委員 幸 知之

1. アンケートの実施

知的財産教育協会中小企業センター（以下、当センター）は、我が国の中小企業の知的財産に関する調査研究を行い、全国の中小企業の声をもとめて政策検討・提言を実施し、中小企業における知的財産経営の強化・普及に貢献して我が国の産業経済の発展に寄与することを狙いとする、知的財産教育協会内の組織です。当センターは、中小企業が我が国産業を支える重要な基盤であるという認識のもと、知的財産管理技能士による、中小企業における知的財産経営の調査・研究、知的財産に関する中小企業政策の検討を通じ、中小企業における知的財産経営の強化・普及に貢献し、もって我が国産業経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

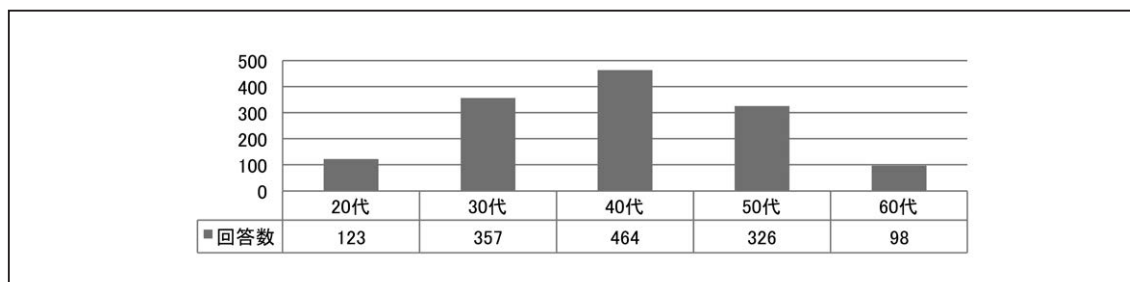
当センターではこのたび、2014年7月25日（金）～8月11日（月）にかけて、所属企業等における知財活用、知財に関する意識を調査のアンケートをインターネット上で行いました。アンケート対象は当センターへの登録者及び知的財産管理技能士会会員・利用登録者22,243名のうち、1,368名の方からご回答をいただきました（回答率：6.1%、回答者の知財技能士資格保有率約98.3%）。

2014年8月28日にこのアンケートの中間報告をまとめましたので、その内容の一部を抜粋してお知らせいたします。

2. 中間報告の概要

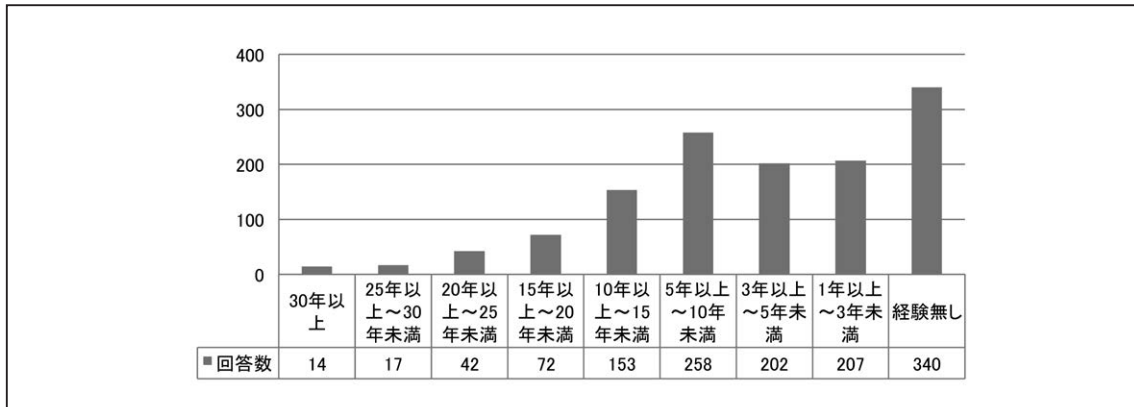
（1）年齢と知的財産業務経験年数

①年齢



回答者は40代、30代、50代の順に多く、この3つの年代が占める割合は全回答者の80%強に達しています。

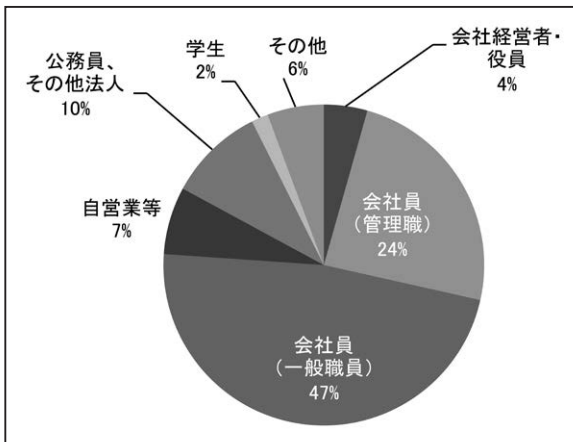
②知的財産業務経験年数



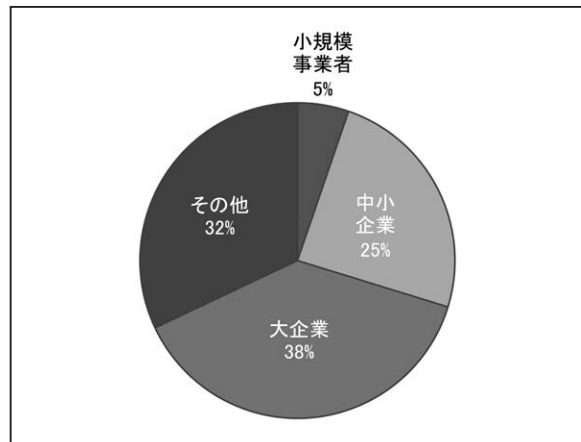
①の年齢では40代が一番多かったのですが、知的財産業務経験年数では10年未満にとどまる方が多くなっています。このことから、入社後知的財産業務一筋の方は少なく、知的財産以外の業務をご経験の方も多いようです。

(2) 職業および所属企業等の規模および業種

①所属（所属名、割合（%））

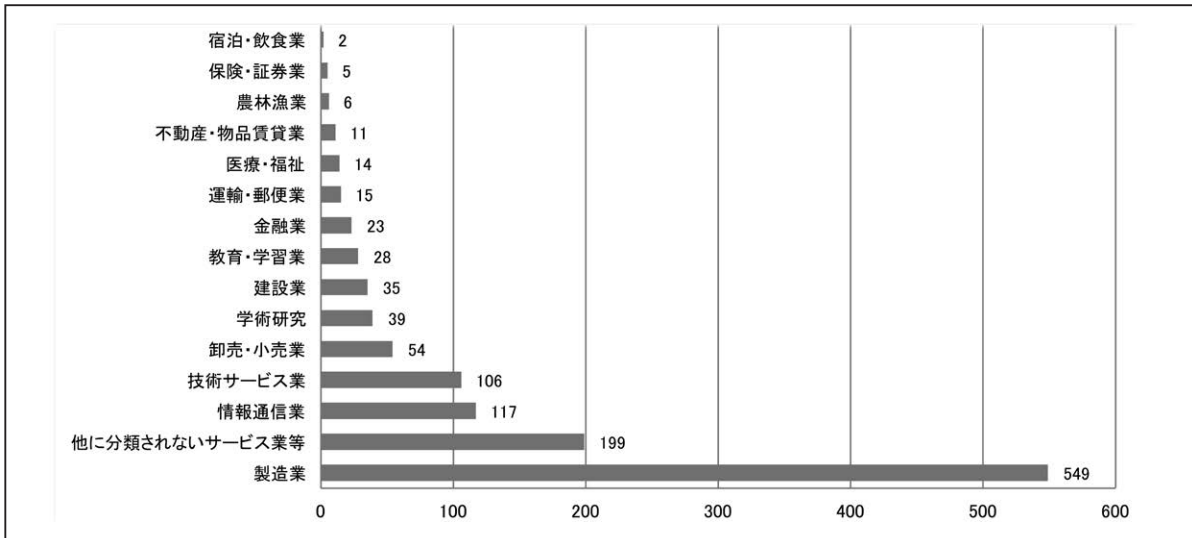


②所属企業の規模（規模、割合（%））



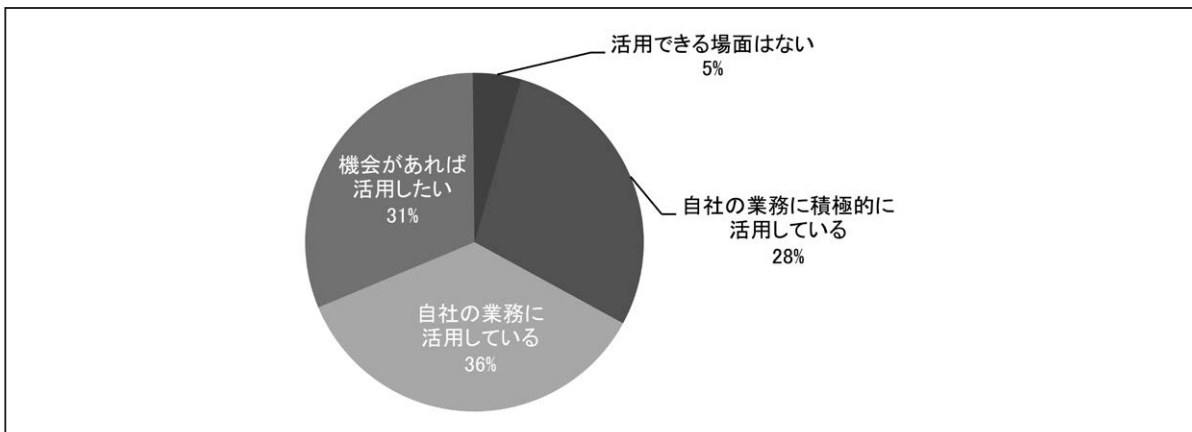
会社経営者・役員、会社員（管理職）、会社員（一般職員）を選択した、いわゆる会社企業に所属する回答者の合計は約75%となります。また、②所属企業の規模における「その他」については、公的機関等に所属する方、自営業・自由業の方のほか、企業に関する質問に未回答の方も含まれています。

③所属企業の業種（業種名、回答数）



選択肢は、総務省が公示している日本標準産業分類の大分類を参考に、アンケート対象者を想定した区分としました。最も多い製造業の割合は46%となっており、次の「他に分類されないサービス業等」を選択した回答者の割合は17%となっています。これは、公的機関等に所属する職業、自営業・自由業の回答者が多いことと関連していると考えます。

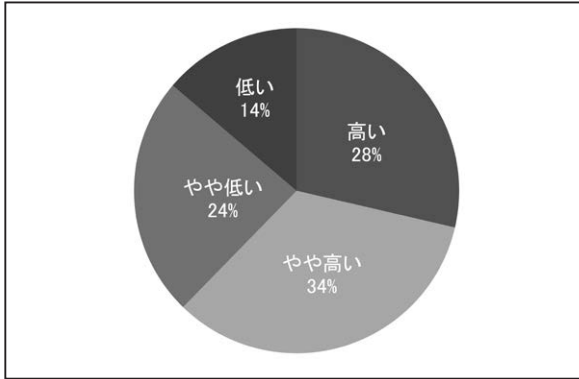
(3) 回答者の知的財産管理に関する知識・技能の活用状況（状況、割合（%））



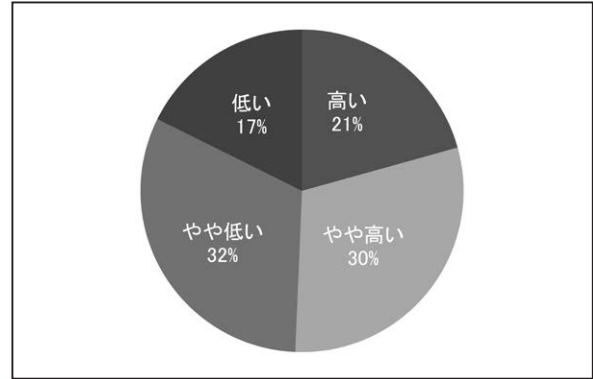
約64%の回答者は知的財産管理に関する知識等を何らかの形で活用できており、多くの方が今まで培ってきた知的財産関連の知識・技能を活かしていることが見て取れます。

(4) 回答者の所属企業における知的財産の状況

① 経営層の知的財産に関する関心度
(関心度、割合 (%))

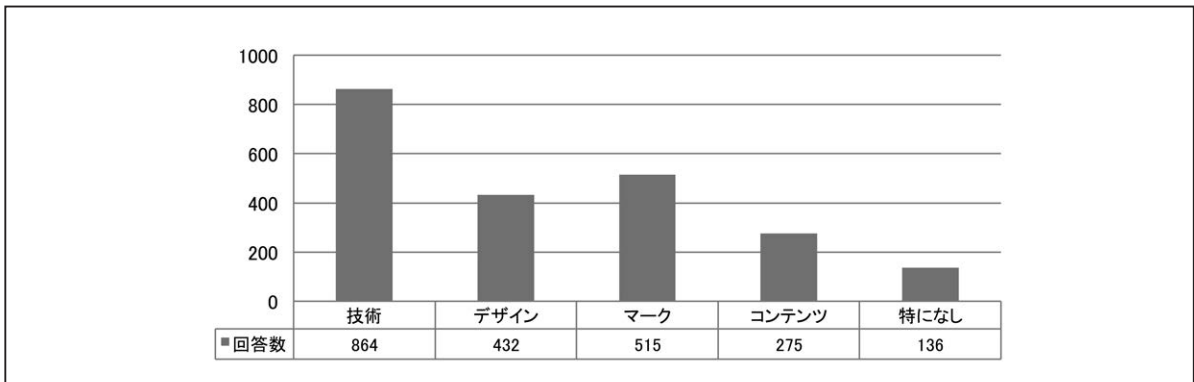


② ビジネス(事業経営)における知的財産の活用度
(活用度、割合 (%))



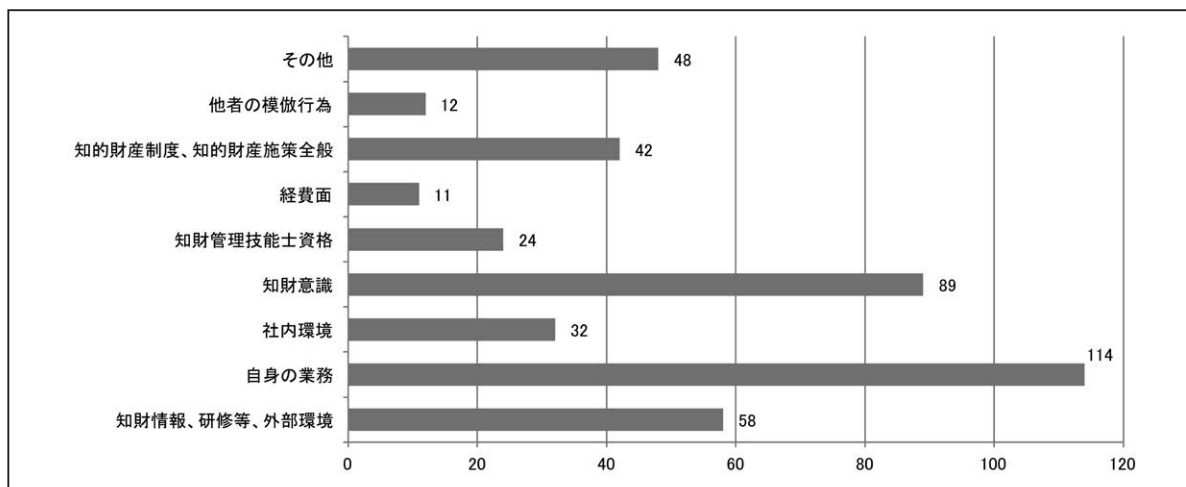
経営層の知的財産に関する関心度は高いとの回答者が60%強を占めるのに対し、実際にビジネス(事業経営)における知的財産の活用度が高いとの回答者が約50%になることから、経営層の知的財産の関心度が高いからと言って、実際の活用に反映できていないのではないかと読み取れます。

③ 活用している知的財産の種類(複数選択あり)



活用している知的財産の種類はやはり「技術」が一番多いことを示していますが、技術以外の知的財産も活用度が高いことが読み取れます。「特になし」と回答した件数と件数の割合(回答者1,368名中136名、約9.9%)は、①の経営層の関心度と②のビジネス(事業経営)における活用度の「低い」(①14%、②17%)という回答数を下回っていることから、やはり多くの企業において知的財産が活用されていることも推察されます。

(5) 知的財産等に関して、日常的にお考えのことやお困りのこと（内容、回答数）



自由記述で知的財産等について日常的に考えていること、困っていることの回答を求めたところ、430名から回答を得ました。回答の内容を分類すると、上記の通りになります。

3. 割愛部分と今後についての説明

今回のアンケートでは、知的財産管理技能士資格の取得動機、勤務先の地域、特許庁や中小企業等が提供している支援策の認知度・活用度なども回答を得ておりますが、紙面の関係で割愛いたしました。中間報告書全文はウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。

「知財活用・知財意識の実態調査アンケート」中間報告書

平成26年8月28日 一般社団法人知的財産教育協会 中小企業センター

<http://ip-edu.org/library/pdf/survey20140904.pdf>

中間報告をもとに、回答者が所属する企業が大企業である場合と中小企業・小規模事業者である場合で回答の傾向に相違があるかなどのクロス分析を行い、どのような局面で特徴的な活用がされているかなどを、最終報告にまとめて改めてご報告をさせていただきたいと考えております。なお、最終報告は平成26年12月中に中小企業センターウェブサイトにて公表予定です。

【中小企業センター】 <http://ip-edu.org/csme>

(以上)